

不登校支援の取組について

2024.5.29

令和6年度第1回仙台市GIGAスクール推進協議会



仙台市教育委員会

不登校対策検討委員会からの報告書について

前回の不登校対策検討委員会の提言から5年が過ぎ、文部科学省の通知や「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策」(COCOLOプラン)が示された。

- ・「学校に登校する」→「社会的自立」、「個別最適な学び」、
「学びの多様化」、「学びの場や居場所の確保」

- ・不登校児童生徒の増加

	H30	R1	R2	R3	R4
小学校	392	501	502	714	825
中学校	1,276	1,376	1,166	1,504	1,742
合計	1,668	1,877	1,668	2,218	2,567

以上のような教育環境や今後も検討していくべきものとして、今回の報告書が作成された。

不登校対策検討委員会からの報告書について

【提言】

1 教育支援センターのあり方

2 校内支援体制の整備

ステーションの拡充、学校における専門的機能の連携

3 ICTの活用

(1)ステーション・別室での活用 (2)教員への支援

(3)支援に結び付いていない児童生徒への対応

4 学びの多様化学校・フリースクール等の民間施設との連携

5 その他

不登校対策検討委員会からの報告書について

【提言】

3 ICTの活用

- (1)ステーション・別室での活用 (2)教員への支援
- (3)支援に結び付いていない児童生徒への対応

(1)ステーション・別室での活用

オンライン上での双方向の対面的な関わりを持ちながら、ステーションや別室、自宅でも利用できるように配信内容(デジタルドリルの活用を含む)や配信方法について検討していく必要がある。



不登校対策検討委員会からの報告書について

【提言】

3 ICTの活用

- (1)ステーション・別室での活用 (2)教員への支援
- (3)支援に結び付いていない児童生徒への対応

(2)教員への支援

ICTを活用した不登校児童生徒への支援の在り方などについて、教員を対象とした研修を行うことにより、どの学校でも格差のない、ICTによる支援が可能になる。今後はICTを活用した相談の仕組みづくりや、教員のニーズに応じた支援体制を整えていくことで、不登校支援に効果があると考えられる。

不登校対策検討委員会からの報告書について

【提言】

3 ICTの活用

- (1)ステーション・別室での活用 (2)教員への支援
- (3)支援に結び付いていない児童生徒への対応

(3)支援に結び付いていない児童生徒への対応

どこからも相談支援や学習支援等の支援のない児童生徒が、家庭以外の学びの場や相談の場とつながるきっかけを作るという視点で、仮想空間を利用することは有効な面がある。また、「学びの場」や「居場所」を考える際の選択肢が増えるメリットがある。目的や内容について十分検討を行って導入する必要がある。

★これらの提言を踏まえ、オンラインでの授業配信や仮想空間(メタバース)を使った支援について、本年度、実証的に実施していく。

不登校対策検討委員会からの報告書について

【仮想空間のイメージ】

